

宮城丸乗組員による実習生への不適切な言動等について

1 事案の概要

平成30年10月2日から同年11月15日にかけて実施した海洋総合実習船宮城丸の第2次航海での指導中、乗組員による実習生に対する暴言及び頭や肩を叩くなどの行為があった。その後、生徒へのアンケート調査等により、第2次航海以外でも、乗組員による不適切な言動等があったことが判明したものの。

2 経過

- 11月 7日（水）帰港に向けた航海中、乗組員Aが実習生1名に対して暴言をはき、船長から指導・注意。当該実習生の話から、乗組員Bからも背中を叩かれるなどの行為があったことが判明
- 11月 8日（木）船長から乗組員Bに対する指導・注意
- 11月14日（水）船長から県教委へ報告。県教委から当面の対応について指導
- 11月15日（木）宮城丸が気仙沼港へ帰港
船長及び校長が当該実習生及びその保護者へ説明・謝罪
- 11月19日（月）～12月14日（金）学校及び船長が関係者からの事実確認
- 12月21日（金）全乗組員を対象にコンプライアンス研修を実施
- 12月26日（水）宮城丸乗組員に関する報道
- 12月27日（木）教育長から船長、気仙沼向洋高校と水産高校の校長に指導
- 12月28日（金）～1月8日（火）実習に参加した在校生へのアンケート調査
全乗組員への聴き取り調査
- 1月 8日（火）・11日（金）船長から乗組員に対する指導
- 1月10日（木）校長と船長が連名で保護者宛ての文書を発出
- 1月12日（土）実習に参加する生徒の保護者説明会（気仙沼向洋高校）
- 1月15日（火）実習に参加する生徒の保護者説明会（水産高校）

3 調査結果及び今後の対応

- アンケート調査等により、4名の乗組員によって両校合わせて12名の実習生に対して不適切な言動等（頭や肩を叩く、怒鳴るなど）があった。
- 4名の乗組員のうち、2名は1回ずつであったが、残る2名は複数の生徒に対して不適切な言動等を行っていた。この2名については、1月18日出港予定の第3次航海（計画期間：H31.1.16～H31.3.16）に乗船させない措置をとった。今後、さらに事実関係等を確認した上で厳正に対処する。
- 第3次航海に当たり、指導教官（教員）を1名増員して配置する。
- 在校生へのアンケート調査の結果等を踏まえ、実習体制全般について見直す。
- 乗組員に対する継続的な研修を実施する。